

令和6年度 第2回北陸農政局農業農村整備事業等評価に係る技術検討会 (国営事業) 議事概要

- 1 日 時：令和6年7月5日(金) 13:27~14:48
- 2 場 所：(公財)石川県文教会館 401・402大会議室
- 3 委 員：上澤委員、根岸委員、浜野委員、松本委員、森委員長(50音順)

4 議事概要

第1回技術検討会にて技術検討会委員から質問・意見のあった事項に対し、事務局から回答を行った。

その後、技術検討会委員によって「技術検討委員会の意見」の取りまとめが行われた。意見の取りまとめ結果は以下のとおり。

・国営かんがい排水事業 新川流域二期地区

本事業は、排水樋門、排水機場及び排水路の改修を行い、併せて大規模地震に対し耐震性を有していない施設の耐震化対策を行うことにより、排水機能の維持及び施設の維持管理の軽減を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。

本事業の進捗率は7割を超えており、既に施設の改修を終えている受益地域では、改修された排水機場によって排水機能が適切に維持され、安定的な農業が営まれている。また、農業生産法人等が増加し経営規模の拡大が進むとともに、ブランド品種の水稻や園芸作物の振興が図られるなど、事業効果の発現が認められる。

引き続きコスト縮減や環境との調和に配慮しつつ、残工事の完了に向けて計画的に事業を推進されたい。

・国営かんがい排水事業 関川用水地区

本事業は、笹ヶ峰ダム及び幹線用水路の改修を行うとともに、新たに小水力発電施設を整備することにより、農業用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。

本事業の進捗率は9割を超えており、既に供用が開始されている受益地域では、農業用水が安定的に供給されるとともに、農地の利用集積等により経営耕地面積の大きな農業経営体が増加し、農産物・加工品の販売やレストランでの地元食材の提供などの取り組みが展開されており、地域農業の持続的な発展が期待できる。また、小水力発電所が稼働し、売電収入による維持管理費の負担軽減が図られるなど、事業効果の発現が認められる。

引き続きコスト縮減や環境との調和に配慮しつつ、残工事の早期完了に向けて計画的に事業を推進されたい。